



平成 29 年 3 月 31 日

各 位

会社名 丸 八 証 券 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 里野 泰則
(コード：8700、東証 J A S D A Q)
問合せ先 マネジメント本部部長 津坂 聡
(TEL. 052-307-0850)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

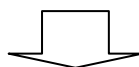
当社は、この度、下記のとおり平成 29 年 4 月から平成 32 年 3 月までの 3 年間を対象とする新たな中期経営計画を策定いたしました。この中期経営計画の策定は、3 年間の中期経営計画を一年毎に更新を行うローリング方式を採用していることによるもので、平成 29 年 3 月期第 3 四半期の実績および現在の市場環境等を勘案し、平成 28 年 2 月 26 日付で更新いたしました中期経営計画（平成 28 年 4 月から平成 31 年 3 月まで）を修正するものです。（主な変更箇所到下線を付しております）

記

1. 中期経営計画策定の趣旨

証券市場を取り巻く環境は次のように大きな変化をみせております。

- ① 世界経済の大きな変化（デフレ脱却・グレートローテーションの兆候など）
（「グレートローテーション」とは債券等の安全資産から、株式等の高リスク資産へ投資資金が一斉にシフトすること）
- ② あらゆる分野に急速に広がりつつある「第 4 次産業革命」《A I 革命》
- ③ 少子高齢化と人口減少の急速な進展
- ④ 「貯蓄から資産形成へ」に向けた政府の取り組み（NISA の拡充、顧客本位の業務運営の徹底）



対面営業を営む当社が大きく活躍できる機会であり、変化に対応しお客様とともに発展していくための進むべき方向とその戦略を示すものです。

2. 経営方針

【基本理念】

「未来の安心のために」

- お客様へ 堅実な資産形成と喜びを
- 株主様へ 永続的な成長と喜びを
- 従業員へ 考え働く幸福と喜びを
- 社 会へ 地元愛知への貢献と喜びを

【基本方針】

- 経営：透明性の高い明確なコーポレート・ガバナンス（企業統治）の確立
- 営業：お客様を第一に考えた収益の最大化の確立
- 管理：業務水準の均一化による付加価値向上の確立

3. 経営戦略

お客様の『投資パフォーマンスの向上』を最重要事項と位置づけ、営業基盤の確立・安定的な収益の確保を目指し、「成長戦略」「安定化戦略」を展開いたします。

【成長戦略】

営業基盤の拡大が最大の成長戦略と捉え、下記の方策によりその拡大を図ります。

① お客様の投資パフォーマンスの向上

・ お客様の投資方針・資金性格などを十分に把握したうえで、適切な情報の提供および資産運用の提案をおこない、お客様の投資パフォーマンスの向上に努めます。

② 「相続サポートチーム」の強化をはじめとした、相談機能の充実

・ お客様の相続・事業承継等をサポートする「相続サポートチーム」の強化など、相談機能を充実します。

・ 全社員がFP資格を取得するなど、お客様の資産形成に適切なアドバイスをおこなうことが出来るよう、体制を強化します。

③ 安心・信頼の提供によるお客様満足度の向上

・ 社員の資質向上、管理の充実を図り、正確・迅速な業務で信頼を提供し、お客様の満足度向上に努めます。

【安定化戦略】

少子高齢化や年金問題、継続する低金利等を背景に、これまで金融資産の運用に興味をお持ちでなかった方にとっても、資産運用は切実な課題となってまいります。さらにNISA（少額投資非課税制度）の充実など、政府による「貯蓄から資産形成へ」の後押しもあり、投資信託に対するお客様のニーズが一層大きくなることは明らかです。

そのような環境を踏まえ、当社は平成32年3月までに投資信託残高1,000億円を達成し、信託報酬の増加による経営の安定化を図ります。

4. 数値目標（平成32年3月末）

預かり資産	3,000億円（1,882億円）
うち投資信託残高	1,000億円（353億円）

※（ ）内は平成29年2月末の数値

以 上